

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の申請主体の名称

静岡県、伊豆市、下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、
松崎町、西伊豆町、賀茂村、戸田村

2 地域再生計画の名称

伊豆アドベンチャーレースを中心とする伊豆の自然を活用したイベント開催等
による地域再生

3 地域再生の取組を進めようとする期間

平成16年度～平成22年度（7年間）

4 地域再生計画の意義及び目標

○伊豆地域の特性と課題

静岡県の東部、伊豆半島に位置する伊豆地域は、入り組んだ海岸線と透明度の高い海、そして海岸線まで迫る山々と美しい景観や観光施設、温泉が豊富で温暖な地域である。

各市町村の名所や史跡等を紹介すると、

伊豆市は各種体験施設のある虹の郷・わさび沢・国の重要文化財の旧天城隧道・岬の先端の鐘を鳴らすと愛が実る恋人岬など山から海まで自然豊富なところで、修善寺温泉が有名である。

下田市は温泉と歴史の町で黒船来航により日本で最初に領事館のおかれたところであり、名所旧跡が数多い。今年が開国150周年事業が予定され、毎年黒船祭りが盛大に行なわれる。下田公園には300万輪のアジサイと5000本の椿が咲き、爪木崎には300万本の野水仙咲き乱れるところである。

東伊豆町は高原地帯を利用したクロスカントリー・マウンテンバイク大会が行なわれ、山菜狩りも楽しめる。稲取、熱川等6つの温泉郷が有名である。近年雛のつるし祭で大勢の観光客を呼んでいる。

河津町は「伊豆の踊り子」の舞台になった自然とロマンのあふれる素朴な温泉郷である。バカテル公園のバラ・河津桜・花菖蒲園など花の溢れる町である。

南伊豆町は伊豆半島最南端に位置し、県下一長い海岸線を誇り、最南端の石廊崎や白砂青松の弓ヶ浜が有名である。みなみの桜や菜の花畑など、花と海山の自然が満喫出来、下賀茂温泉が有名である。

松崎町は5地区の温泉場からなり、漆喰鍍絵の名工「入江長八」のふる里である。伊豆の長八美術館や国の重要文化財岩科学学校など、花あふれる自然とともにロマンにあふれる町であり、ナマコ壁の保存に取り組んでいる。

西伊豆町は西海岸の中央に位置し、天然記念物の堂ヶ島天窓洞やトホロ現象で有名な三四郎島など、堂ヶ島は奇勝奇岩の宝庫で四季を通じて多くのお客が訪れる温泉地である。

賀茂村は夕日に染まる黄金崎やガラスの原料の産地にちなんだ黄金崎クリスタルパーク、西天城高原には海を見下ろす眺めの良い高原牧場やキャンプ場など、海から山まで自然が満喫できる温泉郷である。

戸田村は富士山を望む天然の良港を有する港町であり、名物タカアシガニをはじめ豊富な海の幸を楽しむことができ、造船郷土資料館、駿河湾深海生物館などの体験学習施設も設置されている。

このような豊富な自然資源や観光資源を活用して各市町村がいろいろな方法で取り組んできたが、長引く景気低迷や旅行形態の変化等により観光客の減少が続いている。

○「伊豆アドベンチャーレース」の開催

こうした一方で、住民主導のイベントとして1999年（プレ大会）からスタートし、今年で6回目を迎えるのが「伊豆アドベンチャーレース」。当レースは、女性1名以上加えた3名が競技者となって、海・山・川の他、その土地にある、まさに伊豆の大自然（伊豆の海岸線はほぼ「富士箱根伊豆国立公園」に指定され、山間部は北部の両側から天城峠にかけて指定されている）を活用して作成されたコースをマウンテンバイクやシーカヤック、シュノーケリング等、コースごとに指定されたアイテムを駆使してゴールを目指すマルチアウトドアスポーツである。

2回目の2000年には、「新しい観光スタイルの創出」、「新しい伊豆の魅力の発信」、「新しい観光システムの創造」の実現を目指し、伊豆地域を構成する22市町村の自慢づくり運動（魅力化運動）やシステムづくりを通じての市町村の活性化と、魅力づくりを基盤に個々の市町村の連携の強化を図り、伊豆を一体的に活性化・PRしていこうと展開する「伊豆新世紀創造祭」において、総合賞を獲得するなど、伊豆の自然の魅力を存分に紹介することにより群発地震以降観光不振にあえぐ伊豆に対する起爆剤として期待が高まっている。

また、これまで住民主導をベースに、地域住民と民間団体、行政が知恵と工夫を寄せ合いながら、年々コースエリアを拡大、参加チームも1回目の5チームから5回目の昨年には26チームにまで増加したほか、一昨年にはニュージーランドから海外チームを招待し、国際化への第一歩を踏み出すなど、住民主導により地域の有する豊富な自然資源を有効に活用してきた取り組みが、観光客の減少や過疎という問題をかかえて活気を失いつつある伊豆地域の地域おこしにつながり、伊豆の地域活性の有効なソフトとして認知されつつある。

○関連事業への波及

「伊豆アドベンチャーレース」の開催の1年後からスタートした岩地シーカ

ヤックマラソンは、富士箱根伊豆国立公園に指定されている岩地海岸をスタート／ゴールに全国各地から募集いっぱいの150艇が毎年参加しており、大会をきっかけに1年を通じてリピーターも増え、地区の産業としても成長中である。さらに、岩地地区では3年前から「冒険修学旅行」と称して中学生を対象にカナディアンカヌーや地引き綱、櫓こぎ等の体験学習の受け入れを実施しており、今年は9校の受け入れが決まっているなど、修学旅行の受け入れによって地域の活性化にもつながっている。この他、空き店舗を利用したカヌー・シーカヤックの専門店が平成11年に松崎町の中心市街地へオープンし、販売だけではなく体験教室を開催するなどにより、観光交流客数の増加にも寄与するなど、「伊豆アドベンチャーレース」をきっかけに、様々な取組みが生み出され、関連産業へも波及している。

○「伊豆アドベンチャーレース」を通じた地域の再生

このような背景から、今後も「伊豆はひとつ」という考え方を基本に、国立公園区域として大部分が指定されている伊豆の大自然を舞台にして、道路使用の円滑化、手続改善等に係る支援措置を活用することにより、「伊豆アドベンチャーレース」のコースエリア拡大やそれに関連するイベント等の実施を地域の知恵と工夫によって広げていくことで、まさに、地域におけるヒト・モノ・カネ、ノウハウ等の様々な要素が有機的に結びつき、付加価値を生み出す「好循環」を地域に根ざした形で実現させ、観光の振興ひいては地域経済の活性化と地域雇用の創造を図ることを目標にするとともに、地域経済の活性化のモデルとして全国へ波及させることを目標とする。

5 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果

一年を通して、豊かな自然を対象にした事業を展開する事により、交流客数の増が図られるとともに、観光関連産業を中心にした経済波及効果が図られる。

観光交流客数の目標

(単位：千人)

	昭和63年度	平成3年度	平成12年度	平成14年度	平成22年度
静岡県計	141,482	131,162	122,379	129,151	140,000
計画区域計	30,523	25,066	16,947	16,652	18,051

* 「静岡県観光交流の動向」より対象市町村分を集計した。

* 県総合計画で示す目標(平成22年度：140,000千人)を基に、計画区域内の目標を設定した。

6 講じようとする支援措置の番号及び名称

- 201001 映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化
- 230001 道路使用許可・道路占用許可の手続改善

7 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組その他の関連する事業

○構造改革特区の特例措置により実施する取組

1301 1302 国立・国定公園における自然を活用した催しの容易化事業

- ・ 国立公園における自然を活用した催しの容易化により、伊豆の素晴らしい自然をキャンパスに、環境に配慮したイベント展開を可能とし、伊豆地区への集客によって地域活性化を図っていく。

○その他の関連する事業

(1) 伊豆の自然を利用した各種スポーツ大会の開催

- ・ シーカヤック大会
国立公園（海岸沿いは国立公園普通地域）の岩地海岸をスタート／ゴールにして美しい海岸線をコースにした競技である。
- ・ クロスカントリーとマウンテンバイク大会
稲取地区のクロスカントリーコース1周5kmを利用して開催される。
- ・ 伊豆レディースカップロードレース
弓ヶ浜～石廊崎にかけて海岸線（国立公園）の国道をコースに走るマラソンである。
- ・ 下田河津間駅伝大会
河津をスタートに山間部の国道を利用して下田をゴールにした駅伝大会で毎回60チーム程が参加している。

(2) 地域の伝統行事やイベントの推進

桜祭、フラワーウォーキング大会や国立公園の海岸を使用したり、観光施設や豊富な温泉を利用した催し、産業祭り等地区毎に工夫を凝らした催しを行う。

(3) 都市住民と農山漁村の交流

恵まれた自然、文化、歴史、産業を利用した体験型の観光地にすべく、棚田の田植え体験、山葵の収穫体験、みかん狩り、炭焼き、そば打ち、地引き網、山菜狩り等のグリーンツーリズム事業を推進して、都市と農村の交流を深めていく。

(4) コミュニティー活動の推進

花いっぱい運動の推進で花のあふれる美しい街の形成（環境の保全）地域伝わる伝統行事の活性化を通じて各市町村連携を取りながらコミュニティー活動の強化を図っていく。

8 その他の地域再生計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

・伊豆アドベンチャーレース実行委員会への支援

アドベンチャーレースの円滑な運営のため、県及び関係市町村間が実行委員会に参画し、自治体間の連絡調整やイベントの広報等を支援する必要がある。

別 紙

1 支援措置の番号及び名称

201001 映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化

2 当該支援措置を受けようとする者

伊豆アドベンチャーレース実行委員会

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

昨年度は、プレイベントとして富士山5合目まで利用したオリエンテーリング、また本レースではスタート地点を沼津市に置くことで、いままでの西伊豆を中心としたコースエリアから、将来的な静岡県の広範囲を利用したコース設定の第一歩を踏み出すことに成功した。

本年度もコースエリアを拡大（6市町村・2日間 → 9市町村・3日間）し、“国内初の3日間ノンストップレース”を開催することを検討している。

今後も静岡県の様々な地域を本レースに取り入れることで、伊豆、富士山を含めた静岡県の国外への知名度のアップを図り、将来的には国際大会へと発展させることを目標としている。

なお、レース開催に向けては、平成16年3月に発出された通達に沿って、各市町村が連携し、早い段階から地域住民や道路利用者等と円滑な合意形成が図られるよう配慮して準備を進めていく。

16年度実施概要（案）

コース総距離 205.4 km レース期間 9月18日(土)～20日(月)

第1レグ	シーカヤック（松崎海岸～岩地～戸田）	34.0 km
第2レグ	トレッキング（戸田～笹原駐車場：一部公道使用）	12.6 km
第3レグ	マウンテンバイク（笹原駐車場～天城牧場：一部公道使用）	33.5 km
第4レグ	トレッキング（天城牧場から箒木山）	27.4 km
第5レグ	マウンテンバイク（箒木山～奥原林道：一部公道使用）	23.2 km
第6レグ	キャニオニング（奥原林道～河津七滝：一部公道使用）	9.6 km
第7レグ	マウンテンバイク（河津七滝～大鍋越：一部公道使用）	24.9 km
第8レグ	トレッキング（大鍋越～子浦：一部公道使用）	23.2 km
第9レグ	カヌー（子浦～妻良）	1.2 km
第10レグ	トレッキング（妻良～石廊崎：一部公道使用）	15.8 km

別 紙

1 支援措置の番号及び名称

2 3 0 0 0 1 道路使用許可・道路占用許可の手續改善

2 当該支援措置を受けようとする者

伊豆アドベンチャーレース実行委員会

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

昨年度は、イベントとして富士山 5 合目まで利用したオリエンテーリング、また本レースではスタート地点を沼津市に置くことで、いままでの西伊豆を中心としたコースエリアから、将来的な静岡県の広範囲を利用したコース設定の第一歩を踏み出すことに成功した。

本年度もコースエリアを拡大（ 6 市町村 - 2 日間 → 9 市町村 - 3 日間）し、“国内初の 3 日間ノンストップレース”を開催することを検討している。

今後も静岡県の様々な地域を本レースに取り入れることで、伊豆、富士山を含めた静岡県の国外への知名度のアップを図り、将来的には国際大会へと発展させることを目標としている。

なお、レース開催に向けては、平成 16 年度中に発出される通達に沿って、各市町村が連携し、早い段階から地域住民や道路利用者等と円滑な合意形成が図られるよう配慮して準備を進めていく。

16 年度実施概要（案）

コース総距離	205.4 km	レース期間	9 月 18 日(土)～20 日(月)
第 1 レグ	シーカヤック（松崎海岸～岩地～戸田）		34.0 km
第 2 レグ	トレッキング（戸田～笹原駐車場：一部公道使用）		12.6 km
第 3 レグ	マウンテンバイク（笹原駐車場～天城牧場：一部公道使用）		33.5 km
第 4 レグ	トレッキング（天城牧場から箒木山）		27.4 km
第 5 レグ	マウンテンバイク（箒木山～奥原林道：一部公道使用）		23.2 km
第 6 レグ	キャニオニング（奥原林道～河津七滝：一部公道使用）		9.6 km
第 7 レグ	マウンテンバイク（河津七滝～大鍋越：一部公道使用）		24.9 km
第 8 レグ	トレッキング（大鍋越～子浦：一部公道使用）		23.2 km
第 9 レグ	カヌー（子浦～妻良）		1.2 km
第 10 レグ	トレッキング（妻良～石廊崎：一部公道使用）		15.8 km